



# 図書館員のおすすめ本



## 小学生

### 低学年（1・2年生向け）



『わくせいキャベジ動物図鑑』

tupera tupera 作／アリス館

#### 【内容紹介】

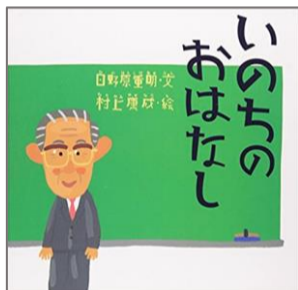
銀河のかたすみにある「わくせいキャベジ」。きみどり色に輝く星には、ふしぎな生き物たちが住んでいます。この本では、惑星に住むユニークな28種類の

野菜動物たちが美しい絵で描かれ、特徴や生態を紹介しています。

#### 【図書館員からのコメント】

野菜をいろいろな動物に見立てるといふ発想がとてもおもしろい本です。絵だけでなく、説明もあるので文章にも触れられます。また、動物を通して苦手な野菜にも親近感がわくかもしれません。自分でオリジナルキャラクターを考えるのも楽しそうです。

### 中学年（3・4年生向け）



『いのちのおはなし』

日野原 重明 文、  
村上 康成 絵／講談社

#### 【内容紹介】

4年生の教室に入って来て、「いのち」の授業をするのは、この本の作者であり、病院の医師でもある日野原先生。いのちって何でしょう？どこにあるのでしょうか？と、問いかけます。聴診器が登場する場面では、友達の心臓の音を聞き、生きている証を確かめます。学校や家庭での生活の中で、相手を思いやり、自分を大切にしようと思う気持ちが強くなる本です。

#### 【図書館員からのコメント】

あとがきの「いのちとこころ」も、ぜひ読んでみてください。「これから生きていく時間」を大切に過ごせるようにと先生からのメッセージが込められています。

### 高学年（5・6年生向け）



『学校では教えてくれないピカピカ自分みがき術もう投げださない!続けるチカラ』

深谷 圭助 監修／日本図書センター

#### 【内容紹介】

一つのことが続けられない……。だんだんいやになってくる……。『続けるためにはどうしたらいいの?』を教えてくれる一冊です!

続けられない理由を知り、続けるためのコツを学んで、新しい自分になってみよう。

#### 【図書館員からのコメント】

自分が続けられないのはどうしてなのか?どうやったら楽しく続けられるのかというコツが、やさしい文章とイラストで書かれている本です。新しいことに挑戦する前の準備として読むのにおすすめです。

## 中学生



『刑務所しか居場所がない人たち』

学校では教えてくれない、障害と犯罪の話』

山本 譲司 著／大月書店

#### 【内容紹介】

刑務所と聞くと、どんなところをイメージしますか？実は、福祉的な支援が必要な人たちがいることを知っていますか？

著者自身の服役経験から刑務所の中では何が行われているのか、どういった支援が必要なのかを知ることのできる一冊。

#### 【図書館員からのコメント】

わかりやすい言葉や相手に語りかけるような文章により、難しそうな話題でも読みやすい内容になっています。社会状況について考え、興味・関心を持つきっかけになる本です。



『空色の地図』

梨屋 アリエ 作者／金の星社

#### 【内容紹介】

ある日、14歳の初音の元に届いたのは、過去の自分からの手紙でした…。つらい思い出、現在の悩み、将来についての不安…。問題を克服して、一步踏み出すまでを爽やかに描く、成長物語。

未来は、無限の可能性にあふれていることに、気づかせてくれます。

#### 【図書館員からのコメント】

主人公が中学生なので、友人関係等、共感できる部分が多いと思います。「今の自分」がするべき事、「大切」にするべきものは何かが見えてくるので、自分探しをしている人にもおすすめの本です。



『コウノドリ 命がうまれる現場から』

鴻鳥 サクラ ナビゲーター、  
鈴木 コウ 原作・イラスト、  
日本産科婦人科学会 監修／講談社

#### 【内容紹介】

大ヒットマンガでドラマ化もされた『コウノドリ』の舞台、聖ペルソナ総合医療センターの「命の現場」を主人公・鴻鳥サクラが案内します。原作の名シーンを振り返りながら、妊娠・出産にまつわる知識や、産科医や助産師の仕事内容を知ることができます。

#### 【図書館員からのコメント】

妊娠・出産に関する知識がマンガを交えながら、わかりやすく、ふりがな付きで紹介されています。妊娠・出産は病気ではないといわれますが、すべて順調にいくとは限りません。あなたも友達も周りの人すべてが、様々な問題を乗り越えて誕生した尊い存在なのだ、ということに気づかせてくれます。